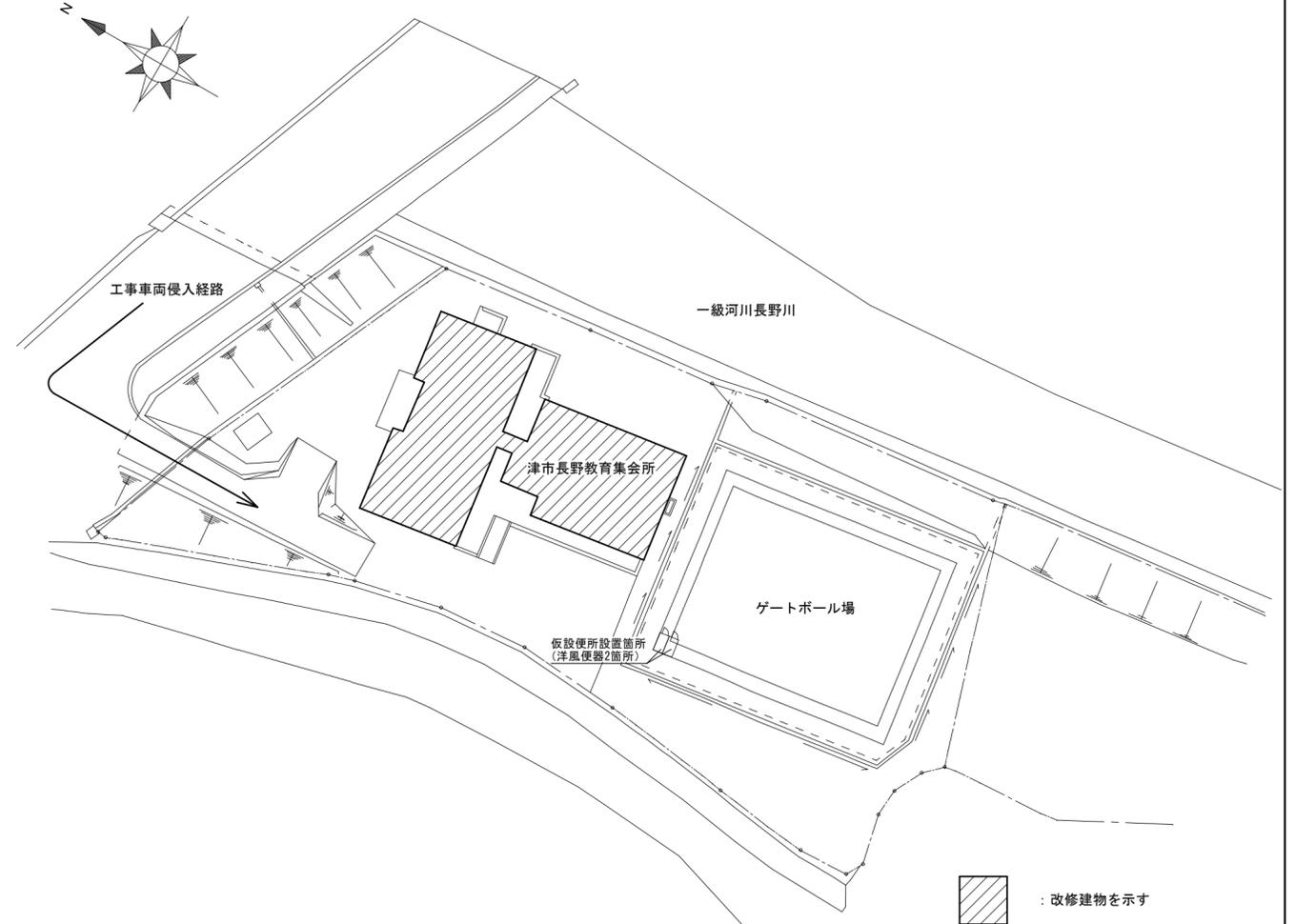


位置図



配置図 S=1/400

特記事項

(工事概要)

- ・排水設備の改修及び既設浄化槽の撤去を行う。

(施工条件)

- ・契約締結後速やかに詳細な工程を調整の上決定すること。
- ・作業着手までの期間に調査及び、施工計画書を作成し、市監督員の承諾を得ること。
- ・作業着手までの施設内調査は、事前に市監督員の承諾を得るものとし、施設運営に影響を与えない範囲とする。
- ・工事期間中も施設を利用するため、安全対策には十分配慮すること。なお、内部作業については、施設運営に支障をきたさないよう監督員、施設管理者と打合せをし、工事の日程を決めること。
- ・合併浄化槽の新設は別途市営浄化槽事業により設置となるため工程調整の上施工を行うこと。
- ・既設浄化槽の清掃が令和5年1月下旬に行われるため、施工はそれ以降に行うこと。
- ・工事中は仮設便所（洋風便器：男子1、洋風便器：女子1）を設置すること。
- ・大型車両の出入りの際には誘導員を配置すること。
- ・作業着手前には、現況状況把握の為に破損箇所等あれば、写真に記録しておくこと。また、工事過程に於いて既設施設に破損等を与えた場合は、受注者の負担に於いて速やかに復旧すると共に市監督員に報告をすること。
- ・設計書に明記なくとも機能上及び構造上当然必要と認められるもの並びに、取合いのはつり補修復旧は本工事に含む。なお、内訳書の数量は参考とし、当図面を優先する。
- ・工用水、電力については既存の施設を無償で利用できる。但し、施設運営に影響しないよう事前に打合わせのうえ計画し施工すること。
- ・工用車両及び工事関係車両は、周辺道路に駐車しないこと。
- ・受注者は再生資源の利用又は建設副産物の搬出がある場合は、工事着手及び工事完了後に「再生資源利用計画書（実施書）」、「再生資源利用促進計画書（実施書）」を監督員に提出することとし、工事着手前にはJACICが運営する「建設副産物情報交換システム」へデータ入力し、工事完了時にはシステムへ実績報告を行うこと。

(解体撤去処分)

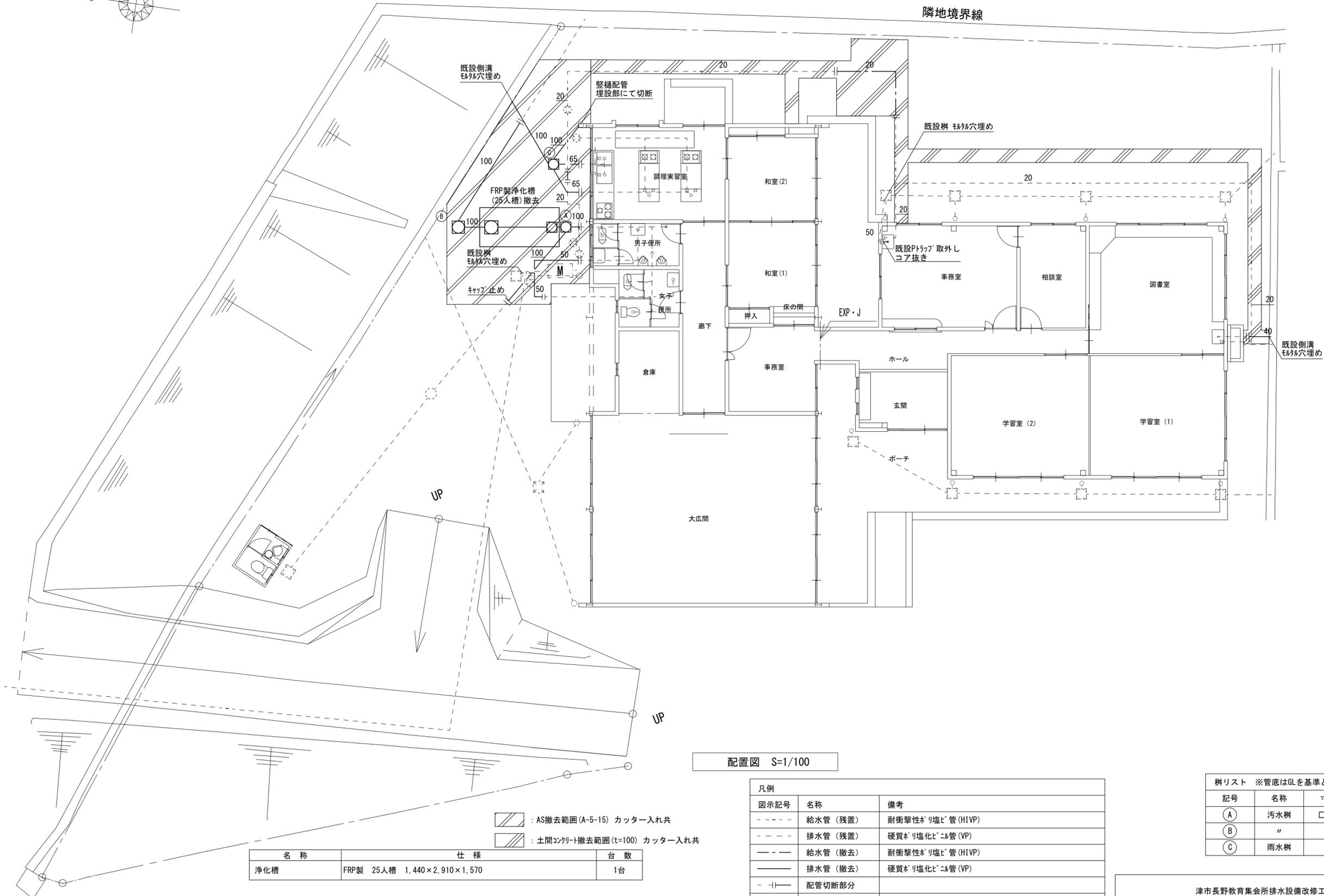
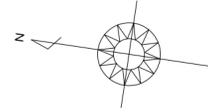
- ・本工事により発生する廃材は、産業廃棄物となるため関係法令により適切に処理すること。
- ・また、工事着手前に、施工方法を記した施工計画書を市監督員に提出し承諾を得ること。
- ・工事完了後、マニフェストA、B2、D票を市監督員に提示すること。
- ・工事着手に先立ち、石綿含有建材の使用について、目視、設計図書及び貸与資料等により書面調査及び現地調査し、監督職員に報告すること。
- ・「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」「労働安全衛生法」「大気汚染防止法」等を遵守すること。
- ・「石綿障害予防規則」に基づく石綿作業主任者を選任し管理すること。

図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、以下による

- 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修  
「公共建築工事標準仕様書（建築、電気、機械設備工事編）平成31年版」  
「公共建築改修工事標準仕様書（建築、電気、機械設備工事編）平成31年版」  
「公共建築設備工事標準図（電気、機械設備工事編）平成31年版」  
「建築、電気、機械設備工事監理指針令和元年版」
- 独立行政法人 建築研究所監修  
「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」

津市長野教育集会所排水設備改修工事		縮尺	1/400
図面名称	位置図・配置図・特記事項	原因	A 2
津市建設部営繕課		No.	1/6

隣地境界線



名称	仕様	台数
浄化槽	FRP製 25人槽 1,440×2,910×1,570	1台

: AS撤去範囲(A-5-15) カッター入れ共  
 : 土間コンクリート撤去範囲(t=100) カッター入れ共

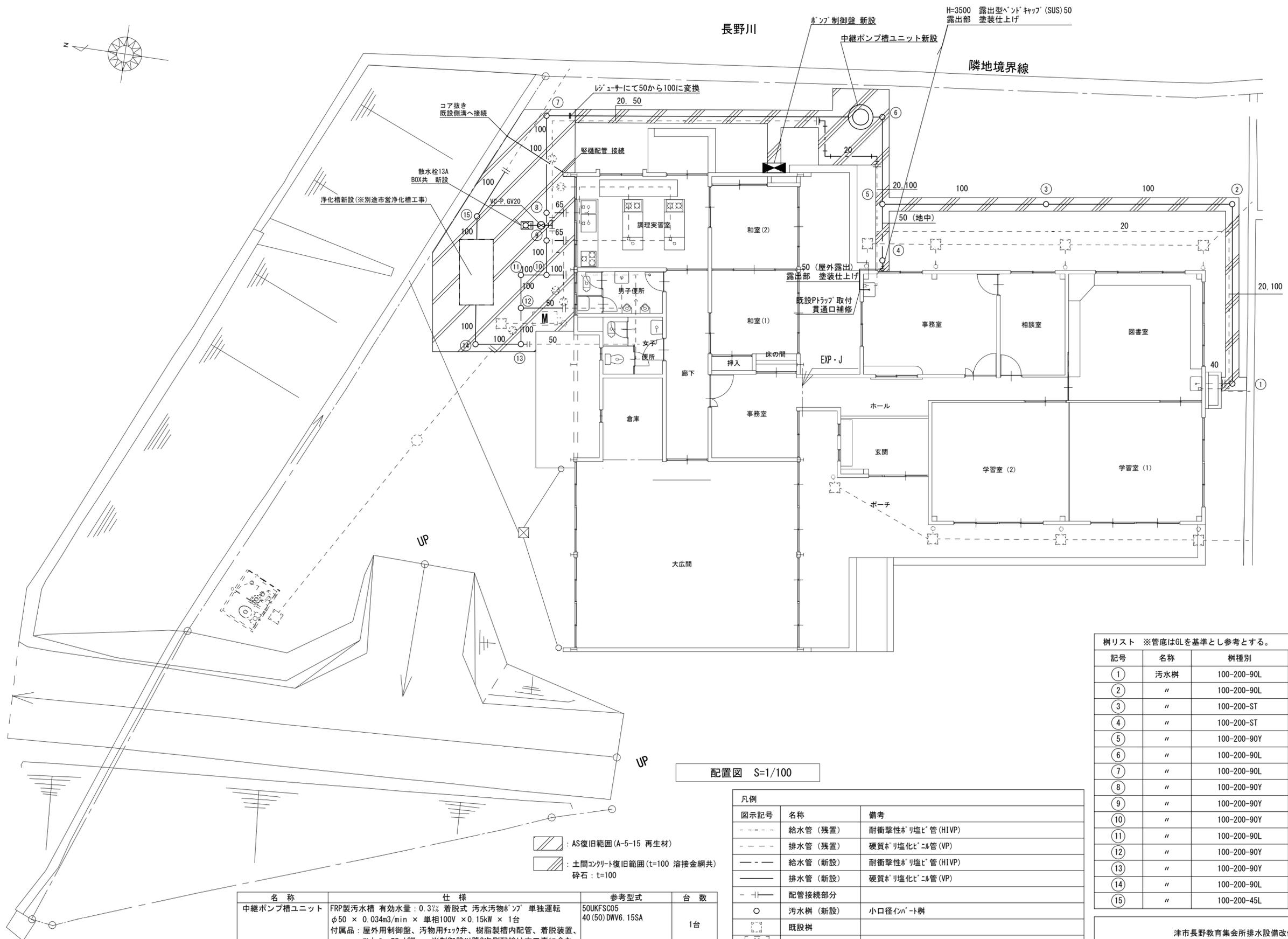
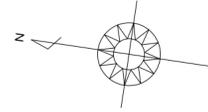
配置図 S=1/100

凡例	図示記号	名称	備考
---	---	給水管(残置)	耐衝撃性PVC塩ビ管(HIVP)
---	---	排水管(残置)	硬質PVC塩ビ管(VP)
---	---	給水管(撤去)	耐衝撃性PVC塩ビ管(HIVP)
---	---	排水管(撤去)	硬質PVC塩ビ管(VP)
-	-	配管切断部分	
□	□	撤去樹	
○	○	既設樹	
M	M	既設給水メーター	
⊗	⊗	既設止水弁	

樹リスト ※管底はGLを基準とし参考とする。

記号	名称	寸法	蓋仕様	管底
(A)	汚水樹	□450	コンクリート	-300
(B)	"	"	"	-550
(C)	雨水樹	"	"	-500

津市長野教育集会所排水設備改修工事		縮尺
図面名称	配置図 改修前	原図 : A 2
津市建設部営繕課		No. 2/6



配置図 S=1/100

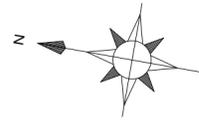
樹リスト ※管底はGLを基準とし参考とする。

記号	名称	樹種別	蓋仕様	管底
①	汚水樹	100-200-90L	塩ビ	-300
②	〃	100-200-90L	〃	-370
③	〃	100-200-ST	〃	-470
④	〃	100-200-ST	〃	-500
⑤	〃	100-200-90Y	〃	-570
⑥	〃	100-200-90L	〃	-610
⑦	〃	100-200-90L	〃	-300
⑧	〃	100-200-90Y	〃	-360
⑨	〃	100-200-90Y	〃	-370
⑩	〃	100-200-90Y	〃	-380
⑪	〃	100-200-90L	〃	-390
⑫	〃	100-200-90Y	〃	-400
⑬	〃	100-200-90Y	〃	-410
⑭	〃	100-200-90L	T-8	-430
⑮	〃	100-200-45L	〃	-500

名称	仕様	参考型式	台数
中継ポンプ槽ユニット	FRP製汚水槽 有効水量: 0.3 <sup>1</sup> / <sub>2</sub> 着脱式 汚水汚物ポンプ 単独運転 φ50 × 0.034m <sup>3</sup> /min × 単相100V × 0.15kW × 1台 付属品: 屋外用制御盤、汚物用チェック弁、樹脂製槽内配管、着脱装置、マニュアル、フロートSW ※制御盤以降2次側配線は本工事に含む。	50UKFSC05 40(50)DWV6.15SA	1台
散水栓	BOX共	T28UNH13(TOTO) LF-33-13CV(L1X1L)	1個

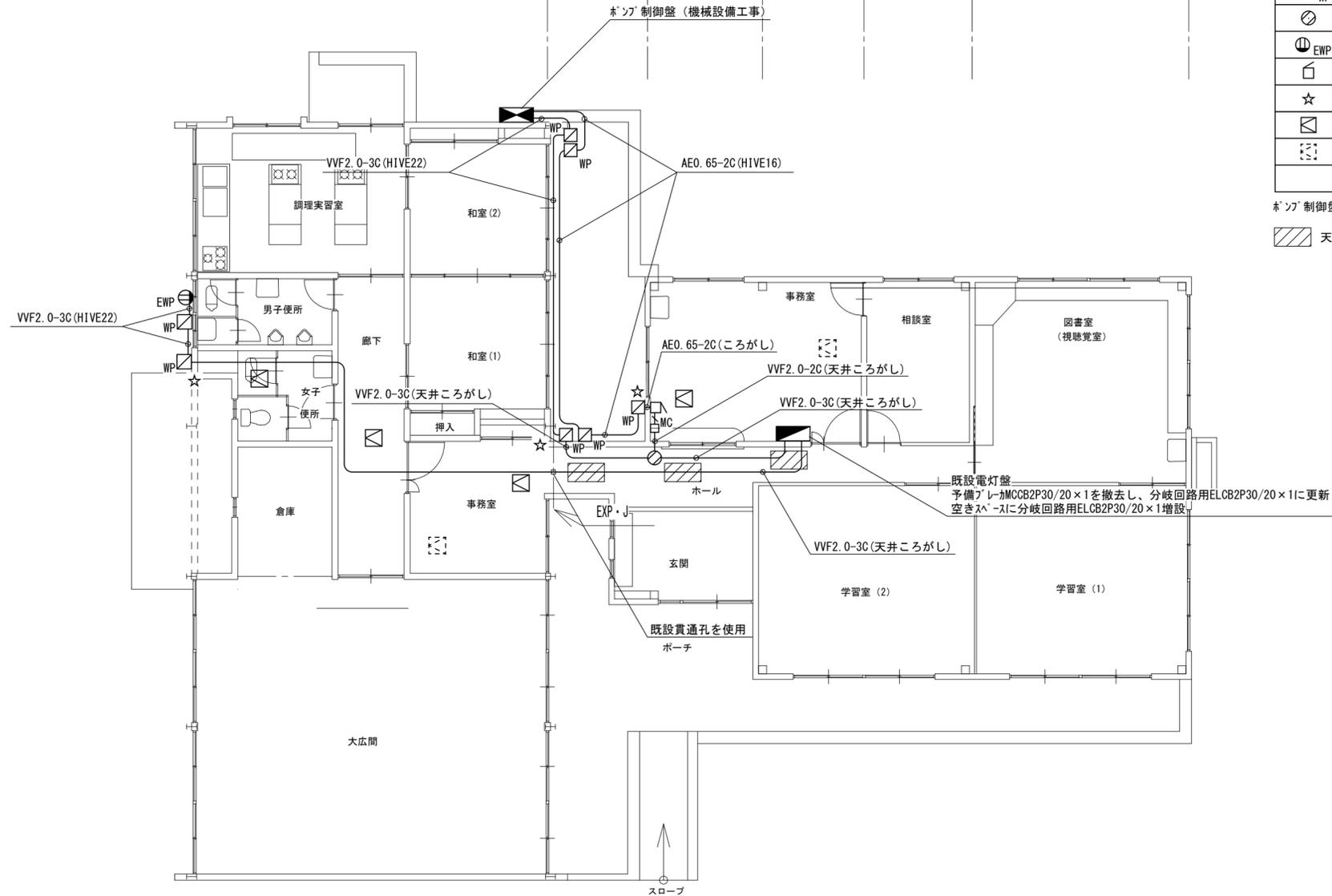
凡例

図示記号	名称	備考
----	給水管(残置)	耐衝撃性ポリ塩化ビニル管(HIVP)
----	排水管(残置)	硬質ポリ塩化ビニル管(VP)
----	給水管(新設)	耐衝撃性ポリ塩化ビニル管(HIVP)
----	排水管(新設)	硬質ポリ塩化ビニル管(VP)
—+—	配管接続部分	
○	汚水樹(新設)	小口径パイプ樹
□	既設樹	
M	既設給水メーター	
⊙	既設止水弁	
⊗	止水弁(新設)	
⊕	散水栓(新設)	BOX共



24,800

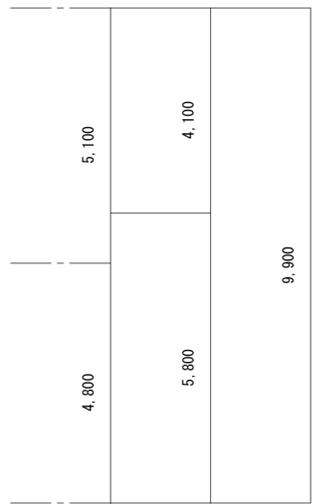
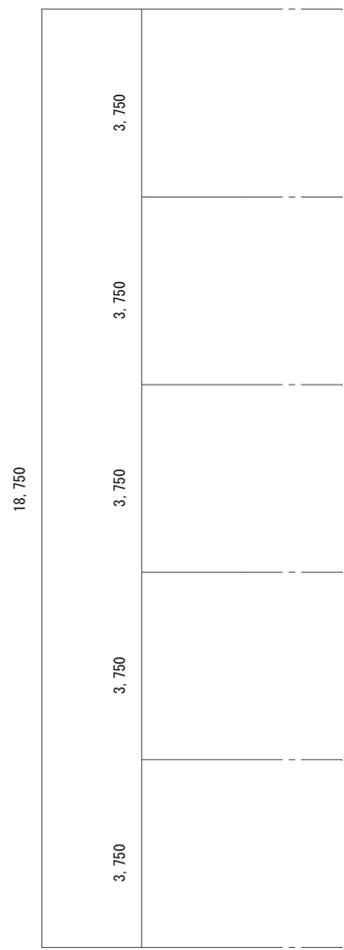
3,500 1,800 3,500 2,500 5,400 2,700 5,400



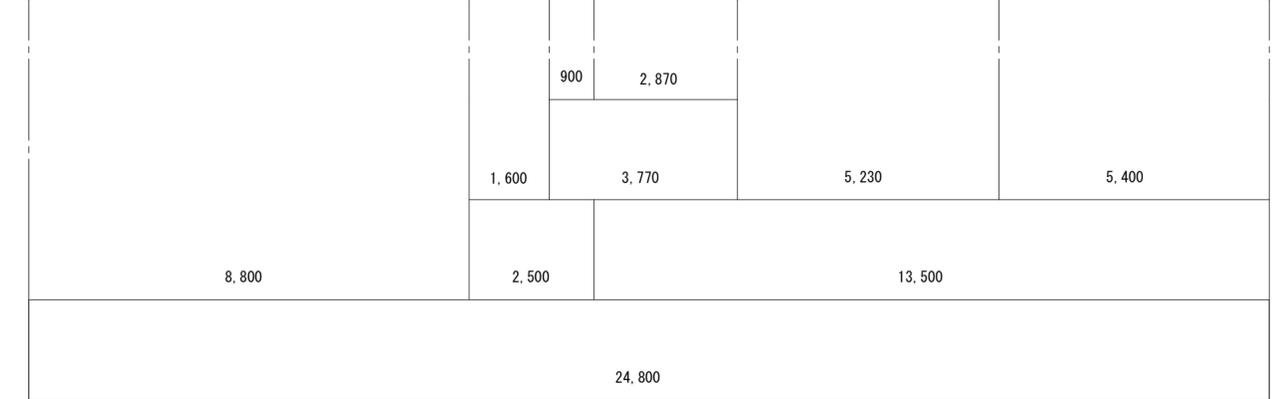
凡例	摘要
—/—	VVF2.0-2C (メネル-A型)
□MC	メネル-コーナボックスA型
□WP	露出丸ボックス
⊙	アットレットボックス
⊕EWP	防水コンセント 2P15A×E+ET ボックス共
□	警報ラップ付ブザー(参考型番: EA5501) ボックス共
☆	壁貫通処理
□	天井点検口 □450
⊞	既設天井点検口

ポンプ制御盤への接続は金属製可とう電線管(ビニル被覆・防水)とする。

天井仕上(化粧PBt9.5) 脱着箇所を示す

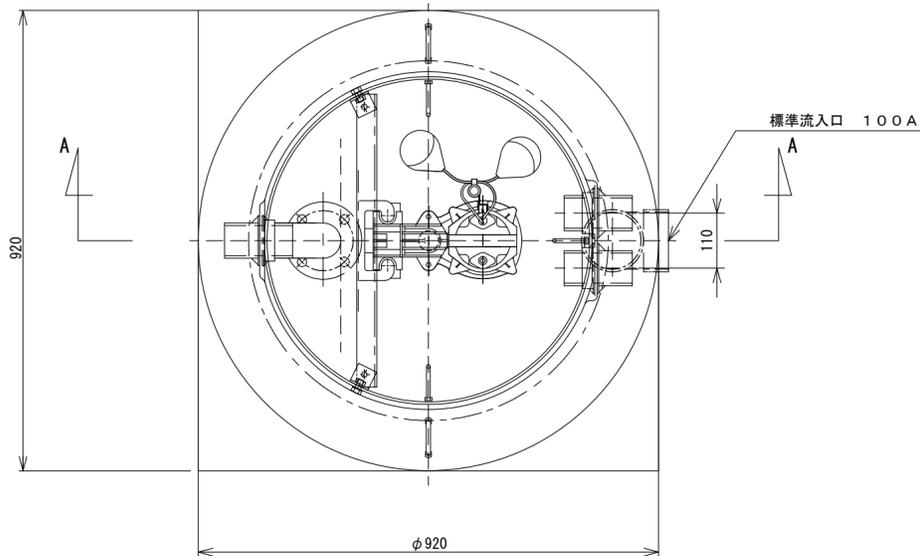


電気設備平面図 S=1/100



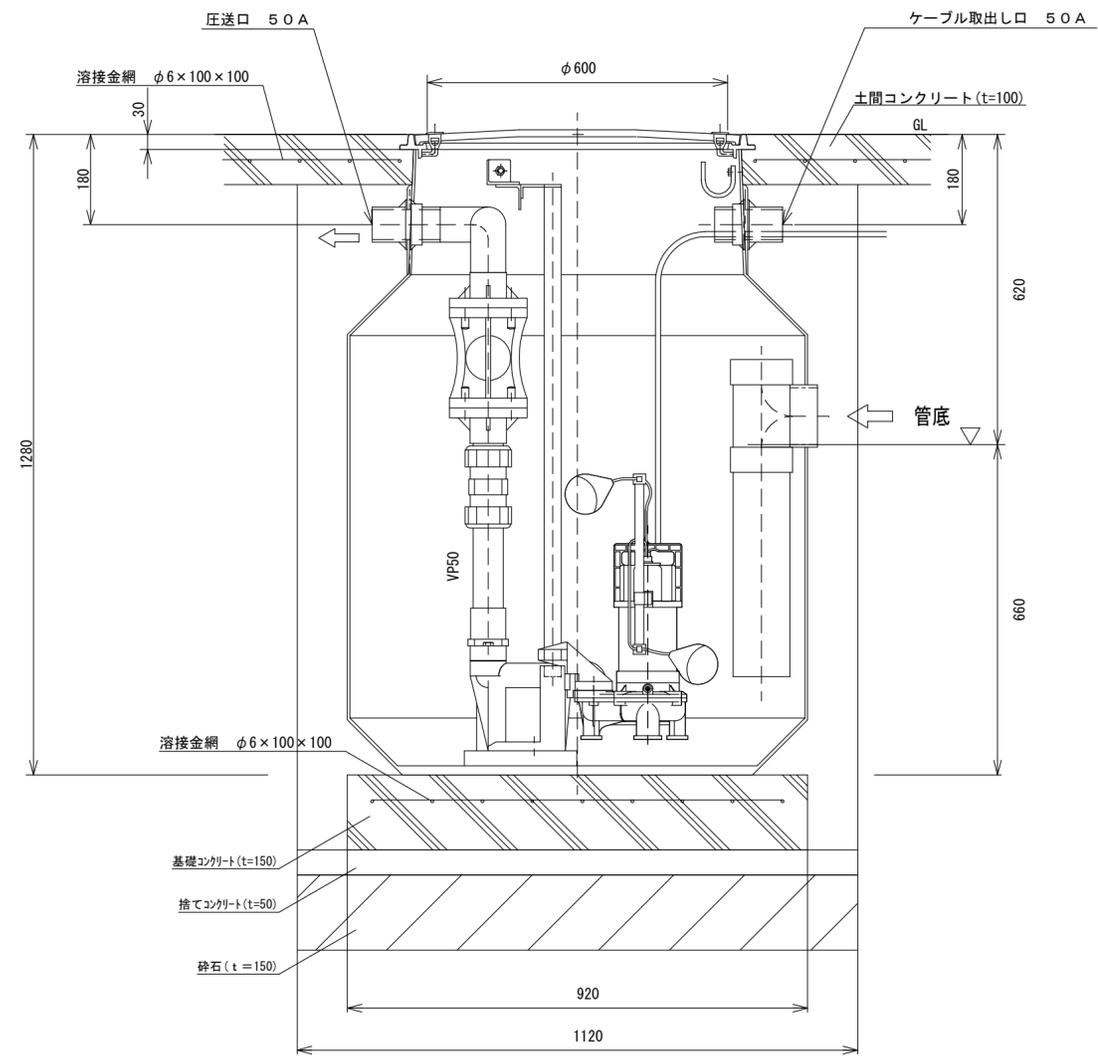
津市長野教育集会所排水設備改修工事		縮尺 1/100
図面名称	電気設備平面図	原図: A 2
津市建設部営繕課		No. 4/6

# 参考図

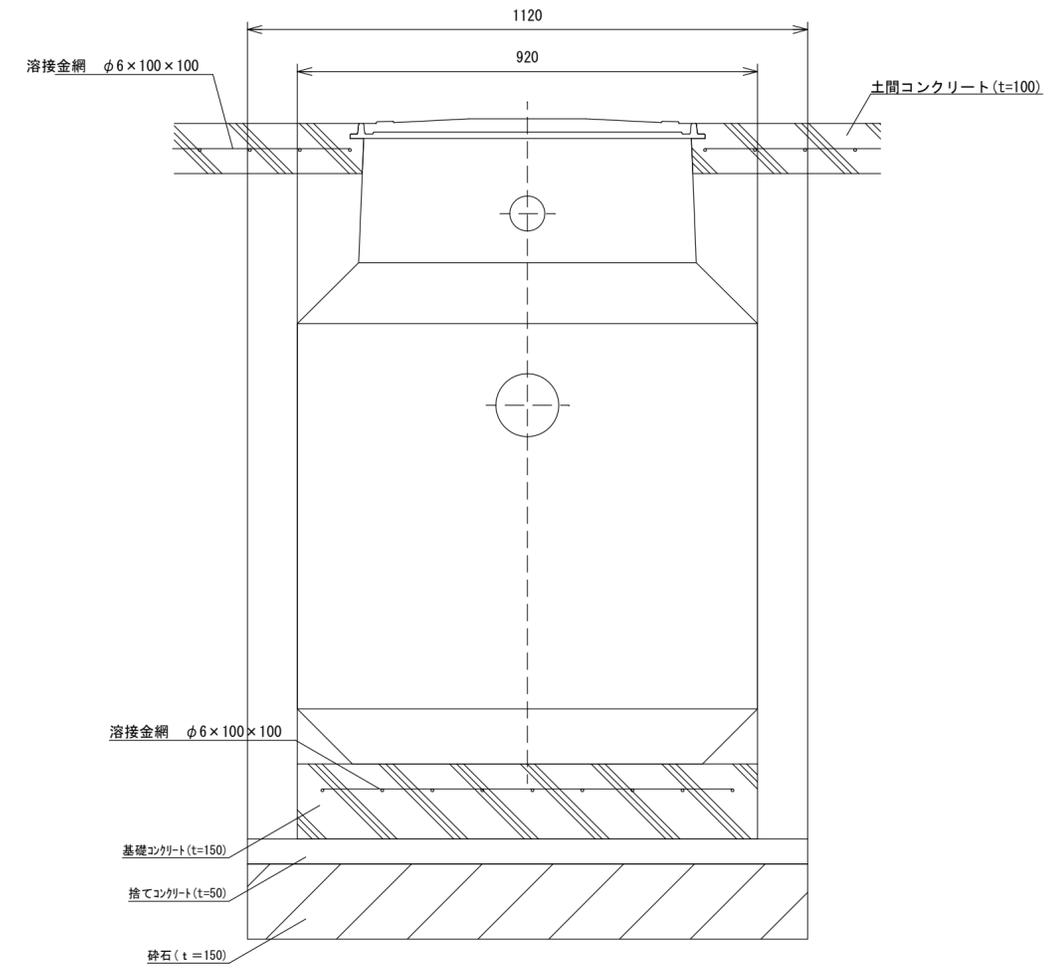


平面図 S=1/10

容量表				
有効容量	0.3 m <sup>3</sup>			
機器仕様表 (単相・100V)				
機器名	口径	出力	吐出量	台数
中継ポンプ	50A	0.15kW	0.035m <sup>3</sup> /min	1台
一般事項				
コンクリート	設計基準強度 FC=21N/mm			
鉄筋	溶接金網 φ6×100×100			



A-A 断面図 S=1/10



側面図 S=1/10

津市長野教育集会所排水設備改修工事		縮尺
図面名称	中継ポンプユニット 仕様図	1/10
津市建設部営繕課		原図：A 2
		No. 5/6

